

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

# 横浜みどりアップ計画3か年の評価・提案 案

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2021 年度報告書

横浜みどりアップ計画市民推進会議

2022 年 ○月

## 目 次

1	はじめに .....	1
2	横浜みどリアップ計画と市民推進会議 .....	2
	(1) 横浜みどリアップ計画	
	(2) 横浜みどリアップ計画市民推進会議	
3	市民推進会議 2021 年度の活動実績 .....	5
	(1) 2021 年度の活動の概要	
	(2) 活動の詳細内容	
	①市民推進会議（全体会議）	
	②施策別専門部会	
	③広報・見える化部会	
	④調査部会（現地調査）	
4	横浜みどリアップ計画 3か年の評価・提案 .....	14
	◆計画の体系	
	◆各計画の柱のハイライト	
	◆評価・提案の概要	
	(1) 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む .....	20
	施策1 樹林地の確実な保全の推進	
	施策2 良好な森を育成する取組の推進	
	施策3 森と市民とをつなげる取組の推進	
	(2) 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる .....	29
	施策1 農に親しむ取組の推進	
	施策2 地産地消の推進	
	(3) 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる .....	38
	施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進	
	施策2 緑や花に親しむ取組の推進	
	(4) 効果的な広報の展開 .....	46
	市民の理解を広げる広報の展開	
5	市民推進会議委員名簿 .....	51
6	市民推進会議委員からのコメント .....	54
7	市民推進会議広報誌「Yokohama みどリアップ Action」(2021 年度発行分) ...	60

## 4 施策ごとの評価・提案

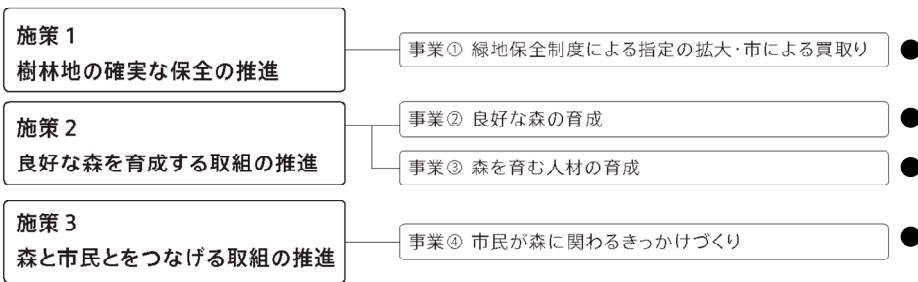
市民推進会議では、横浜みどりアップ計画の「市民とともに次世代につなぐ森を育む(「森を育む」)」、「市民が身近に農を感じる場をつくる(「農を感じる」)」、「市民が実感できる緑や花をつくる(「緑をつくる」)」の施策と、横浜みどりアップ計画を市民の皆さまに周知するための「広報・PR」について、現地調査で活動団体などからいただいた意見も踏まえて、評価・提案を行いました。

なお、横浜みどりアップ計画で進めている事業・取組には、横浜みどり税の導入時に定めた用途に沿って横浜みどり税を充当している事業・取組と、横浜みどり税を充当せずに進めている事業・取組がありますが、市民推進会議では市民の皆さまが負担している横浜みどり税を充当している事業・取組を中心に評価・提案を行いました。

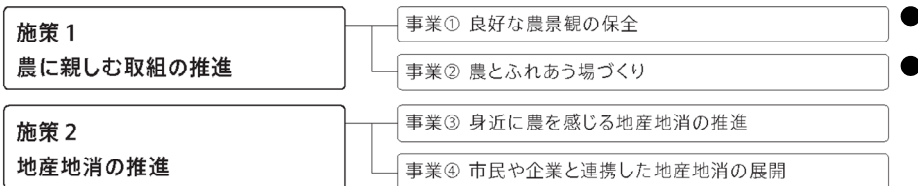
### ◆計画の体系

●：横浜みどり税を充当している事業・取組

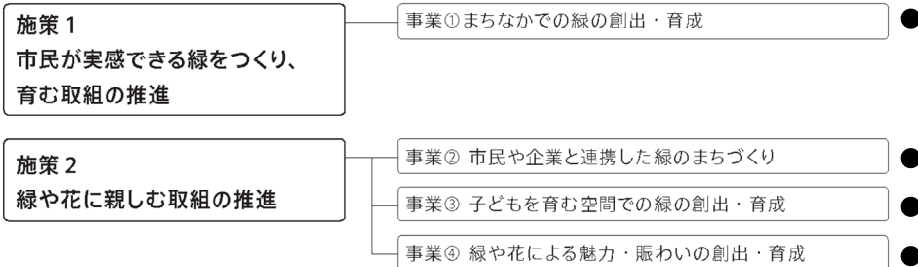
#### 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



#### 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



#### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



#### 効果的な広報の展開

事業① 市民の理解を広げる広報の展開

## ◆各計画の柱のハイライト

2021 年度の実施状況について、これまでの実施状況とあわせて振り返ります。

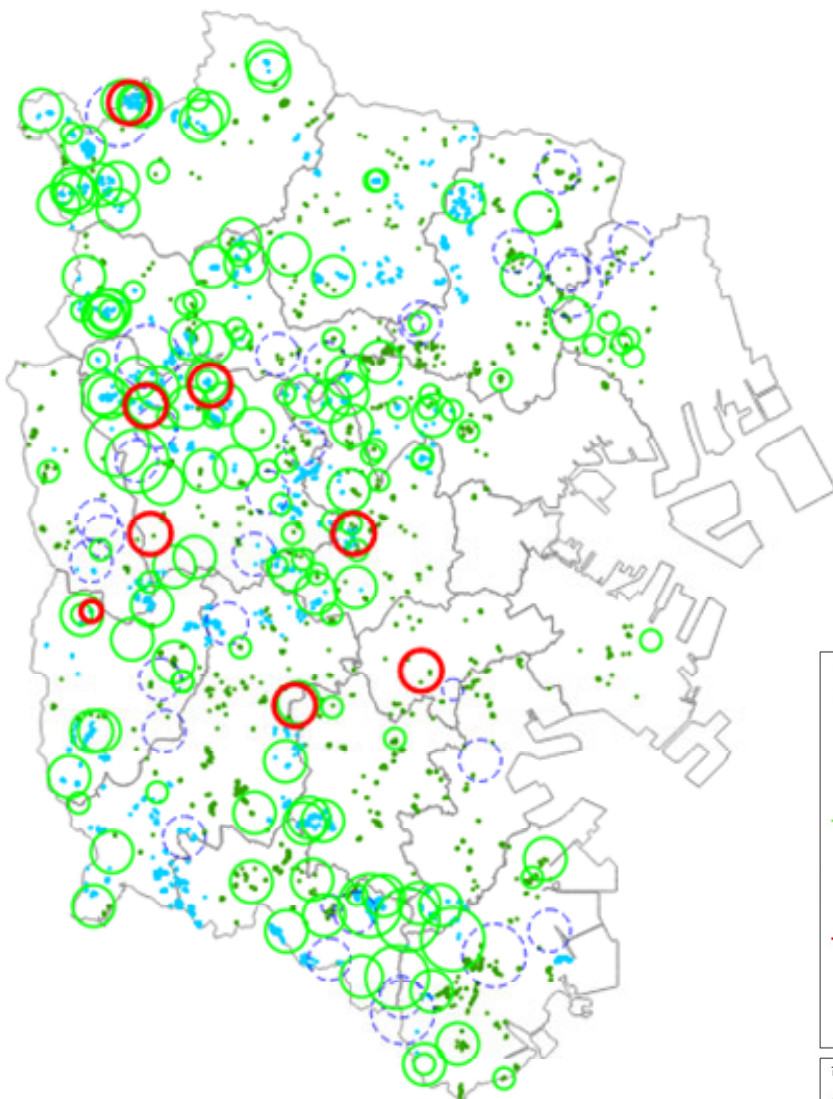


### 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

#### 緑地保全制度による指定の拡大が進んでいます

特別緑地保全地区などの緑地保全制度による指定は、緑のネットワークの核となるまとまりのある樹林地を中心に土地所有者へ働きかけを行い、2009 年度から 2020 年度の 12 年間で約 981.7ha、2021 年度は 28.9ha 指定されました。

#### <緑地保全制度による指定の状況>



2022 年3月末現在



#### <凡例>

都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法に基づく指定地区  
(特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区)

■2008年度以前指定地区

1 ha	1 ha以上 10ha未満	10ha以上

■2009～2020年度指定地区

			みどりアップ 期間中の指定
1 ha	1 ha以上 10ha未満	10ha以上	

■2021年度指定地区

			本報告書で 評価対象と なる実績
1 ha	1 ha以上 10ha未満	10ha以上	

市の条例に基づく指定地区

● 緑地保存地区  
(市街化区域の身近な樹林地を保全する制度)

● 源流の森保存地区  
(市街化調整区域の良好な樹林地を保全する制度)



## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

農園の開設が進んでいます

野菜の収穫や果実のもぎとりなどを気軽に体験できる収穫体験農園、区画割りされた農園で本格的な農作業が出来る認定市民菜園や農園付公園など、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設が進んでいます。



### <農園の開設状況>

(2009年度から2021年度の13年間)

※( )内は2021年度新規開設・支援分



● 収穫体験農園



● 収穫体験農園



● 認定市民菜園



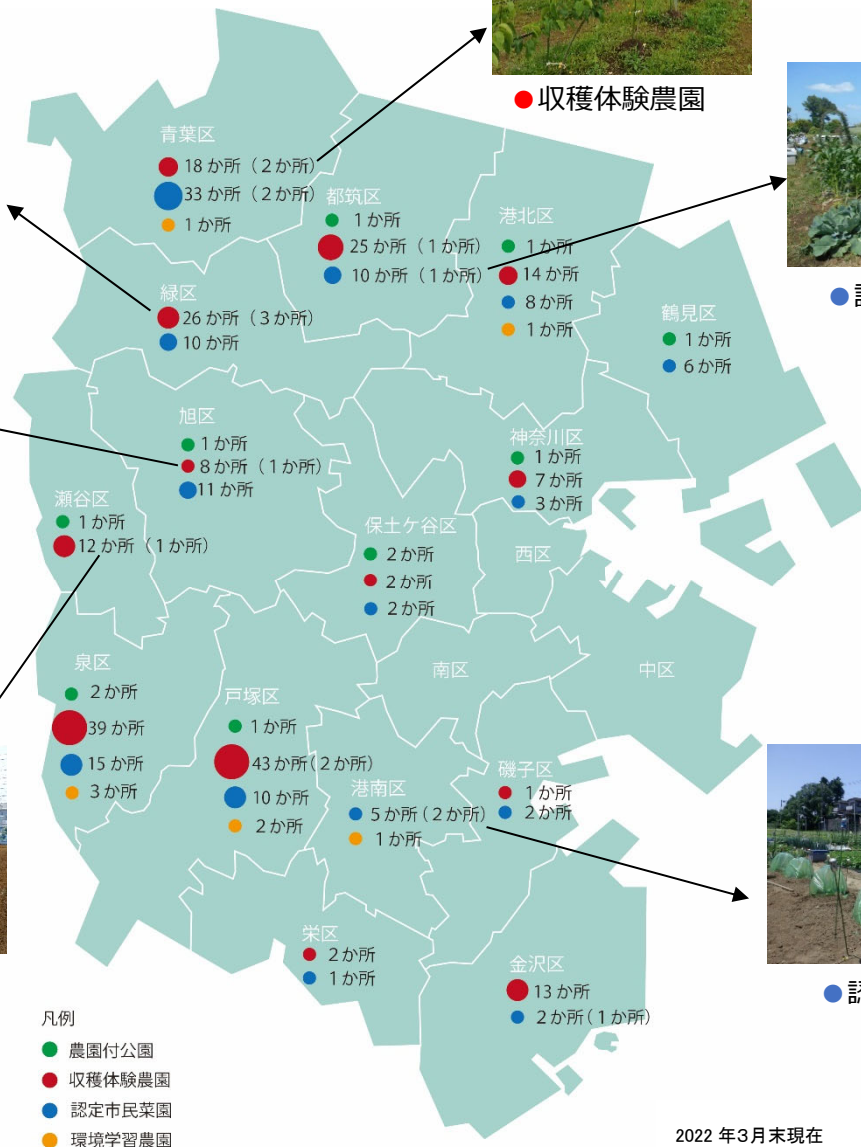
● 収穫体験農園



● 収穫体験農園



● 認定市民菜園



2022年3月末現在



### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

#### 緑のまちづくりが進んでいます

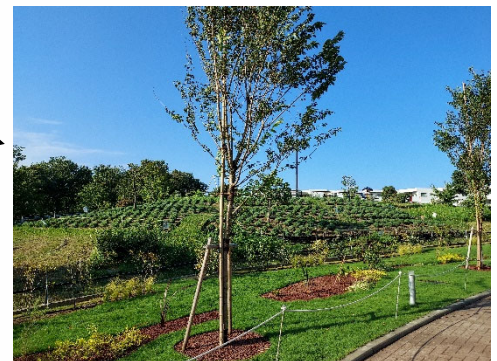
市内各地で様々な緑をつくる自主的な活動が行われ、2009 年度から 2020 年度の 12 年間で市内 55 地区において、魅力ある緑のまちづくりが進んでおり、2021 年度は新たに7地区で緑化の取組が進みました。



#### ＜地域緑のまちづくり実施地区一覧＞



日吉地区(港北区)



磯子3丁目地区(磯子区)

※横浜みどりアップ計画の詳細な実績については、「3か年(2019-2021)の事業・取組の評価・検証」をご覧ください。

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori\\_up/jigyou\\_houkoku.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori_up/jigyou_houkoku.html)

## ◆評価・提案の概要

「計画の柱1:市民とともに次世代につなぐ森を育む」については、〇〇

「計画の柱2:市民が身近に農を感じる場をつくる」については、〇〇

「計画の柱3:市民が実感できる緑や花をつくる」については、〇〇

「効果的な広報の展開」については、事業実施場所の現地表示に二次元バーコードを記載することで、活動している公園愛護会について簡単に知ることができ、身近なみどりへの理解が一層深まるよう取り組んでいます。引き続き二次元バーコードを活用した現地表示を進めてください。

マスコットキャラクターを用いた計画の解説アニメーションを新たに YouTube で発信する取組や、花や緑の映像による庁舎内デジタルサイネージでの放映、幅広く市民が目にする電車やバスの車内広告による広報の取組を評価します。若年層の認知が低いため、映像や SNS など若年層が認知しやすい広報ツールを積極的に取り入れることに期待します。

## (4)効果的な広報の展開

### 事業① 市民の理解を広げる広報の展開

#### ●事業概要(計画書から抜粋)

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、戦略的な広報を展開します。

#### ●実績

目標	2021 年度実績	3か年実績
広報よこはま等の広報紙への記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市版:3件(9月、10月、3月号)</li> <li>・区版:9件 (西区版10月号、旭区版4月号、緑区版5月号、都筑区版5月号、1月号、戸塚区版11月号、3月号、瀬谷区版5月号、10月号)</li> <li>・季刊誌みどり 1件</li> <li>・かんきょう横浜 3件</li> <li>・こどもタウンニュース(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市版:のべ10件</li> <li>・区版:のべ26件</li> <li>・その他広報紙:のべ9件</li> </ul>
実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明や回覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市連会、区連会での実績報告(10月)</li> <li>・実績リーフレット等の単位自治会・町内会長配布(10月)</li> <li>・実績リーフレット等の区役所やPRボックスでの配架(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市連会、区連会での実績報告</li> <li>・町内会等での回覧</li> <li>・実績リーフレット等の単位自治会・町内会長配布</li> <li>・実績リーフレット等の区役所やPRボックスでの配架</li> </ul>
広告、動画等の各種メディアを活用したPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR動画の制作(2件)、</li> <li>・横浜市役所アトリウム及び18区役所等で動画放映(4月～3月)</li> <li>・交通広告の動画放映(6～7月、11月) (JR横浜線、市営地下鉄(ブルーライン・グリーンライン)、市営バス(3営業所))</li> <li>・YouTube動画掲載:6件</li> <li>・地域情報webへの記事掲載(11月)</li> <li>・日産スタジアムへのPR看板の掲出</li> <li>・横断幕の掲出(動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市役所アトリウム及び横浜市役所デジタルサイネージ動画放映</li> <li>・18区役所で動画放映</li> <li>・交通広告の掲載(市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン・JR横浜線・市営バス3営業所、京浜急行電鉄、東急東横線、相鉄線、みなとみらい線)</li> <li>・YouTube動画掲載</li> <li>・地域情報webへの記事掲載</li> <li>・市営バス・公用車等へのPR用ステッカーの貼付掲載</li> <li>・日産スタジアムへのPR看板の掲出</li> <li>・横断幕の掲出(動物園、水再生センター、ウェルカムセンター等)</li> </ul>



ホームページの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度やイベントの募集案内(毎月)</li> <li>・イベントや体験スポット紹介、制度紹介ページの新設(9月)</li> <li>・実績報告書掲載(10月)</li> <li>・計画関連動画の掲載(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページの更新(実績報告書、計画関連動画の掲載等)</li> </ul>
メールマガジンやソーシャルメディア等による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「横浜みどりアップ計画メールマガジン」の発行(毎月)</li> <li>・ツイッターの発信(横浜 GO GREEN @yokohama_kankyo)</li> </ul>	
緑に関するイベントでのPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプリングフェア(4月)</li> <li>・春の里山ガーデン(3~5月)</li> <li>・農と緑の感謝デー(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントブース出展:のべ11回</li> </ul>
取組に基づいて実施したことを示す現地表示(プレート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約1,300枚の公園花壇への現地表示プレートの設置(3月~)</li> <li>・都心部の公園花壇・里山花壇への現地表示プレートの設置(3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組実施箇所での現地表示看板の設置</li> <li>・工事看板への表示</li> <li>・市民・ふれあいの樹林の案内板へのロゴステッカーの掲示</li> </ul>

※市民推進会議による広報企画としては、広報誌「Yokohama みどりアップ Action」を2号編集・発行。(詳細は●頁「③広報・見える化部会」参照)



広報よこはまへの取組実績の記事掲載  
(市版 10月号)



こどもタウンニュース  
(令和3年 11月発行)



PR動画を活用した広報  
(横浜市役所アトリウム)



市営バス車内での動画放映



横浜みどりアップ葉っぱが解説する  
計画紹介アニメーション



農と緑の感謝デー(令和3年 11月)



公園花壇での現地表示プレートの設置  
(港北区小机町第二公園)

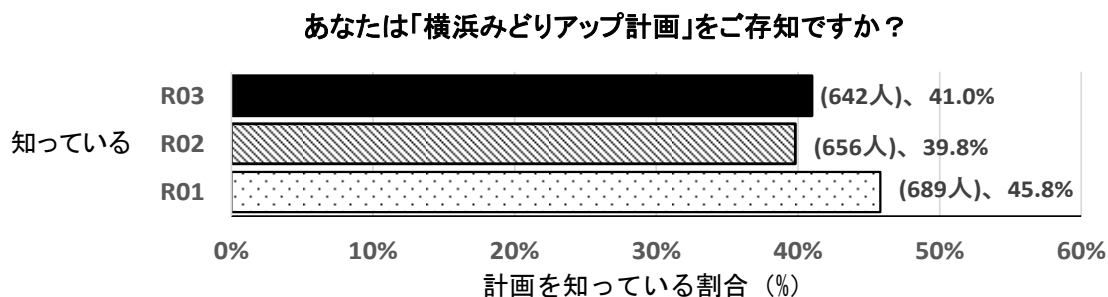


ガーデンネックレス横浜と連携した現地表示板  
(里山ガーデン)

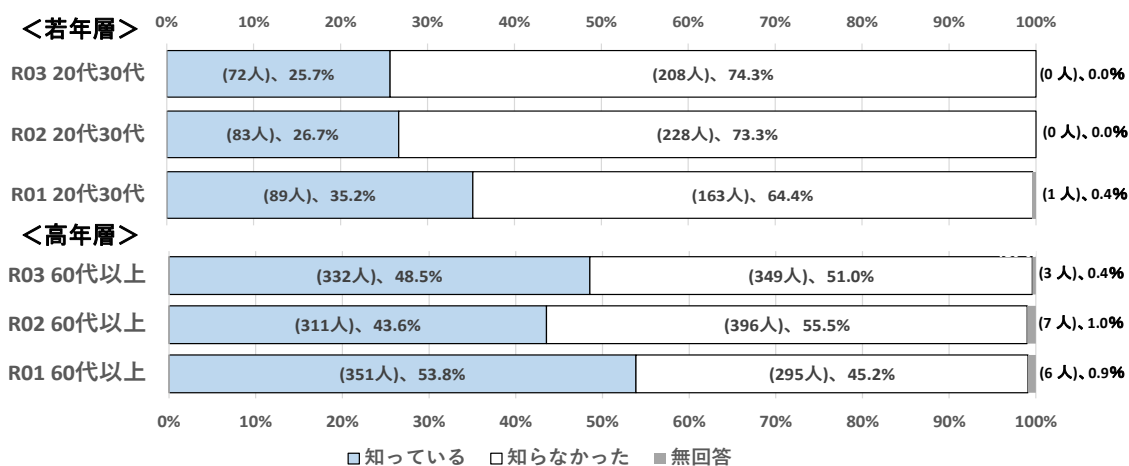
Q.「横浜みどリアップ計画」をご存知ですか？

計画を知っている割合は40%前後で推移。

2021年度は、41.0%が知っていると回答



計画を知っている割合は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いている。



※「知っている」は、「取組内容を知っている」、「あることを知っている」、「名称を見たことや聞いたことがある」の計

令和3年度「横浜みどリアップ計画認知度調査」の調査結果より

#### 市担当者からのコメント(環境創造局みどリアップ推進課)

- 横浜みどリアップ計画の実績については、リーフレットを作成し自治会・町内会へ説明を行うほか、広報よこはま市版に記事掲載を行い、広く市民へ実績が伝わるよう努めました。
- また、マスコットキャラクターが計画を解説するアニメーション動画を制作し、YouTube への掲載や、緑や花が美しく育っているイメージ動画を横浜市役所アトリウムで放映したほか、18区役所や庁舎内のデジタルサイネージ、電車やバスの社内広告で放映を行い、映像による横浜みどリアップ計画の取組成果をPRしました。
- 公園愛護会の皆さんが植えた球根ミックス花壇に市内約1,300枚の現地表示プレートを設置するとともに、横浜みどリアップ計画の取組がより多くの方の目に留まるよう、SNSやホームページなどを強化していくなど、多様な手法による広報を進めています。

### ◆施策についての評価・提案

- 広報よこはまの定期的な記事掲載を行うことで、認知度向上が見込まれます。また、子ども向けの広報紙などに記事を掲載することは、子どもだけでなく親にも情報共有できるため、より幅広く広報が可能となります。引き続き認知度向上に資する広報を継続してください。
- 事業実施場所での現地表示は、計画の成果を実感できる広報です。現地表示に二次元バーコードを記載することで、活動している公園愛護会について簡単に知ることができ、身近なみどりへの理解が一層深まります。引き続き二次元バーコードを活用した現地表示を進めるとともに、樹林地や農地にも二次元バーコードの記載を広げることを検討してください。
- マスコットキャラクターを用いた計画の解説アニメーションを新たにYouTubeで発信する取組や、花や緑の映像による庁舎内デジタルサイネージでの放映、幅広く市民が目にする電車やバスの車内広告による広報の取組を評価します。
- 計画を知っている割合は40%を超えていますが、若年層では30%を割っています。紙媒体に限らず、引き続き映像やSNSなど若年層が認知しやすい広報ツールを積極的に取り入れることを期待します。  
また、広報・見える化部会の提言を踏まえて配布した「森づくりボランティア活動証明」は若い世代の参加者を促すうえで有効と考えられます。参加者が更に新たな参加者を生み出すような展開が期待できるよう工夫して取り組んでください。
- コロナ禍において制約がある中、ガーデンネックレスなど開催できたイベントを効果的に活用し、広報に取組んだことを評価します。

#### 広報・見える化部会 部会長コメント

.....

高田 房枝



## 6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきたなかで感じたことや、生活の中で、緑について日ごろ各委員が感じたことについて、委員の皆さまからもコメントをいただきました。

委員ごとにコメントをいただきます。